

# コミュニティバス利用促進意見交換会（飯豊地区）

2011年3月2日 18:00~19:00 飯豊地区交流センター

北上市企画部政策企画課より、あいさつとこれまで行ってきた話し合いの説明があり、コミュニティバス利用促進意見交換会が開催されました。

## 次年度のコミュニティバスの運行方法および目標人数について



### ポイント1

#### 企画～運営～運行～利用促進の「主体」の考え方

- ・運行モードにより各主体は異なる

### ポイント2

#### 地域マネジメントの視点の確認

- ・地域は利用・企画・運営（利用促進）を地域マネジメントの視点から推進

### ポイント3

#### モニタリング及びチェックのサイクル(案)の共有

- ・地区の乗降人数を指標とし、モニタリング及び対応策の検討

#### 飯豊地区の目標人数は

一日当たり**48人**となります。  
(現状34人)

また、いわてNPO-NETサポートより、コミュニティバス利用促進のための他市の事例紹介がありました。

#### 意見交換

このような意見交換会は、「ふれデイ」などのバスを利用する高齢者が集まる場所でも行って欲しい。行う予定である。地区公民館単位でも可

回数券を前払いすると、利用者にカウントされるのか。

カウントされる。

回数券は、景品として金券のように使えるのか。地域からの申し込みがあれば構わない。身近なところでもっと簡単に回数券が買えるように努力したい。

回数券をもらってうれしいが、アンケートを取ったらどうか。

発想が面白い。検討する。意見交換の場は定期的に設ける。

コミュニティバスを使わないと、すぐに乗合タクシーなどに変更するのか。

あくまでも利用状況を見てのもの。一足飛びに変更するものではない。バスの利便性を踏まえて、これをどう残していくかを検討していただきたい。やめるための2年というサイクルではない。

乗車+ の何かがないと、乗車人数は増えないのではないか。

検討する。地域ごとにもアイデアを出してもらいたい。臥牛では行きは健康ウォーキング、帰りはバスを使う、などの地域事業を行っている。

中部病院へのシャトルバスはなくなるのか  
利用者が少ないので、今年度いっぱい終了する。

パルで回数券を見せると割引をする、などのサービスを行うよう、働きかけをして欲しい。

そういったアイデアは面白い。バスカードを持っているとすぐに分かるような工夫をしていきたい。